

第6回秋田市マイタウン・バス東部線木曽石地区運行協議会議事要旨

開 催 日 時 平成29年2月9日（木） 午後5時55分～6時40分

開 催 場 所 木曽石公民館

委 員 定 数 10人

出 席 委 員 9人

- 次 第
- 1 開会
 - 2 議事
 - (1) 秋田市マイタウン・バス東部線の利用状況について
 - (2) 今後の事業改善について
 - 3 その他
 - 4 閉会

事 務 局 ただ今から第6回秋田市マイタウン・バス東部線木曽石地区運行協議会を開催する。

 本日の協議会は委員10名中、委員の過半数である9名の出席をいただいていることから、秋田市マイタウン・バス東部線運行協議会設置要綱第5条第2項により会議が成立することを報告する。

 なお、委員1名については、本日所要により欠席される旨の連絡をいただいている。

 開会にあたり、交通政策課長よりあいさつ申し上げます。

 (交通政策課長あいさつ)

事 務 局 次第2の「議事」に入る。

 ここからは、設置要綱第4条第3項の規定により、会長に議長となっただき、会の進行をお願いする。

会 長 議事1，2について、続けて事務局に説明を求める。

事務局	(説明)
会長	ただいまの説明に対し、質問等はあるか。
委員	利用者の減少については、人口減少社会においては根本的な改善は難しいと思う。 利用者の減により、いつかはマイタウン・バスはなくなってしまうのか。
委員	移動手段を確保しづらくなる人口減少・高齢化社会だからこそ公共交通が重要になってくる。急になくなるということはない。 ただ、マイタウン・バス全体の赤字額は約1億6千万円であり、これを黒字にするというのは現実的に困難だが、財源は市全体の税金であることから、少しでも赤字を減らす努力は必要である。
委員	コインバスの対象人数が増加すると、収支はさらに悪化するのか。
委員	正規運賃との差額は、市の福祉部門から運行事業者に支払われるので、影響はない。
会長	当地区でも高齢ドライバーは少なからずいるが、バスの便数が少ないので、いざという時のことを考慮し、運転免許を手放せないという。ましてや予約式への移行ともなればなおさらのような感じがする。
委員	予約式に移行したとしても、東部線は3コースを車両2台で回しており、1台にするわけにはいけないので、燃料費の減程度で、劇的な経費圧縮にはならないと思う。 しかしながら、空気を運んでいるような状況は解消すべきであり、少しずつでも改善していく必要があると思う。 利用者が皆無に近い便もあるので、そうした便について予約式へ移行するということは考えられる。
委員	予約式になり、前日に予約しなければならないとなると、急な事態が発生したときのことを思うと不安はある。

事 務 局	定刻の1時間程度前までの予約で乗車可能、という設定は可能だと思う。 しかし、一部の便のみを予約式に移行するにしても、定時定路と予約式の便が混在し、かえってややこしくなるという不安もある。 そのことも含めて、運行形態を研究させていただけないか。
会 長	了承するが、町内会などの意見について、来年度の運行協議会を待たずとも、随時、市に相談してもよいか。
事 務 局	ぜひお願いします。
会 長	ほかに質問や意見がないようなので、次第3の「その他」について、何かあるか。無いようなので、進行を事務局に戻す。
事 務 局	第6回秋田市マイタウン・バス東部線木曽石地区運行協議会を閉会する。

以 上